

令和2(2020)年度「ニイガタSKYプロジェクト」合同SD研修会実施報告

[目的]

新潟国際情報大学、新潟青陵大学、新潟青陵大学短期大学部、新潟薬科大学、新潟工業短期大学は、平成29年度から「ニイガタSKYプロジェクト」として緩やかな連携体制を構築している。専門性の異なる大学が協働し、個々の大学の特色や資源を活かした取り組み、及び自治体等との連携を深めることで、高等教育機関の活性化と地域発展へ貢献することが期待されている。

これまでに合同公開講座、学生対象のキャリアイベント等を実施してきたが、令和2(2020)年度は新型コロナウイルス感染症の拡大という過去に例のない状況に見舞われていることから、感染防止の観点から対面ではなく遠隔授業システム(Webex)を利用した合同SD研修会を企画し実施した。コロナ禍において、大学職員として通常業務における対処方法、また、ポストコロナを見据えた知識についても求められていることから、学外から専門家を招き「ウィズ・コロナ時代の労務管理と学生対応」と題し遠隔講演いただくとともに、3大学から集約された「コロナ禍における大学の現状と課題」について情報共有し、交流を深めた。

[日 時] 令和2年8月28日(金) 14時~17時

[会 場] 新潟国際情報大学本校 240教室

(※新潟青陵大学、新潟青陵大学短期大学部、新潟薬科大学は限定者のみ
新潟国際情報大学本校での参加とし、感染防止の観点から遠隔授業システムWebexを通じたオンライン配信にて参加)

[内 容] 1. 講演「ウィズ・コロナ時代の労務管理と学生対応」

講師: 小国 隆輔 様 (弁護士)

2. ウィズ・コロナに向けた現状と課題(3大学ディスカッション)

[参加者] 総数: 58人

(本学参加者: 33人、新潟青陵大学13人、新潟薬科大学12人)

以上



写真: 新潟国際情報大学 240教室と遠隔授業システムを利用した3大学ディスカッション